

『今が、歴史を創る時』 個々人がつむじ風を起こそう

第12回 『おーい、王様…、裸の王様!』

(毎月掲載)

永田 隆一

かつて、それなりに栄えた方々が、産業構造大転換の荒波を受け、気がつけば、多くの方々が衰えてしまいました。そして、その方々は、二通りに分かれました。

一方は、「自分の至らなさが、招いた結果です」と、自分を客観的に語れる人達です。実力はあるのでありますから、仲間が放って置きません。しばらくしますと、いくつもの機会が訪れて、また、活躍されております。

もう一方は、かつての威光・地位を、ますます装飾してしまう方々であります。いけません。とてもそらぞらしい空気が漂います。そして、当然、誰も側に、馳せ参じようとはいたしません。

「イナバウワー、反って後ろに倒れます」と、鈴木さんは一蹴されたことがあります。他にも、「かわいそうな人達ですね」と、話題に上がることもありません。かりに、誰かが話題にあげても「さて、次はどこのお店にいきましょうか」と、話題を即座にかえられてしまいます。

皆様、お気をつけあれと、自省が大切であります。

《自分をごまかさない》

筆者は、京都祇園新橋の千子さんから、「永田はん、よう聞きなはれ」と、教えていただきました。

- ① 誰かのために気張りよし
- ② 応援してくれはる人達の、顔を思い出しなはれ
- ③ 自分を誤魔化したらあきまへん
- ④ ちゃんとしかってくれはるひとを大切にしなはれ
- ⑤ 照れを捨てて、自信を持ちなはれ
- ⑥ そして、何事も、決して諦めたらあきまへん

「鈴木さん、照れを捨てなはれ」と、アドバイスされた鈴木さんと、亡くなられる3カ月前の、62歳の千子さんの写真です。

2年前に、心臓の病で倒れられた大島千子さんの遺言であります。合掌。

《2011年、激動の年》

2011年1月10日の日本の成人式の対象者は、124万人。初めて、日本の人口の1%を割りました。将来の日本を託す若者達が大きく減少しています。

また、日本の単身世帯も含めた世帯数は、5000万世帯です。ところが、住宅の総戸数は、5800万戸です。およそ、10%の住宅が空き家であり、人口もどんどん減少いたします。無理な住宅の購入は、しないほうが懸命かもしれません。

また、日本の勤労者は、6000万人であります。中小企業（従業員



祇園の千子ままと鈴木さん

300人以下の企業)が、70%の4000万人以上を採用して職場を提供しております。しかし、現在、日本の420万社の企業は、毎年1.3%ずつ中小企業が減少しております。

「日本の製造業のしくみは、中小企業の製品を沢山集めて、大企業が組み立てます」

少し、苦しいからと、中小企業に厳しい対応をする大企業や、大手企業と同等以上に厳しく税金を徴収する国や自治体は、自分たちで自分たちの首を絞めている事に気づいて、行動を変えていただきたい、切にお願いいたします。千子ママの声が聞こえます。

「誰かのために気張りよし」

(毎月掲載)